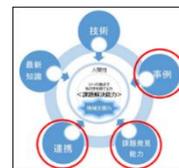


難病コース（定員：40名）



筋萎縮性側索硬化症（以下 ALS という。）は、体を動かすための神経系（運動ニューロン）が変性する病気です。病気が進行するにつれ筋力低下、歩行障害、構音障害、嚥下障害、呼吸障害などがあります。進行に合わせて様々な支援者が連携し患者や家族を心身ともに支えますが、その中には意思決定支援もあります。

今回の研修では、ALS という疾患について理解を深め、進行に合わせた療養支援、意思決定支援を学び緩和ケア、終末期ケアについてどのように多職種が連携して支援するかを学ぶことを目的とします。

【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日 時	内 容	講 師
令和6年 9月28日（土） 13：30～15：30 （受付 13：00～）	『（仮）ALS 患者の在宅医療で大切にしていること』	国際医療福祉大学医学部 医学教育統括センター 教授 荻野 美恵子 氏

- 対 象 者：神経難病患者の支援に携わっている方々
※医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、介護職、ケアマネジャー、計画相談員等

- 申込締切り：令和6年9月13日（金）まで 【先着順】

★申込方法：下記 URL または二次元コードから受付フォームにアクセスし、お申し込みください。
申込受付後、後日、Web 会議（Zoom）のミーティング ID・パスワードを、メールでお知らせします。

URL：<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/reiwa6nenndonannbixyou>

【二次元コード】



※日本医師会生涯教育制度申請予定
※日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定
※日本理学療法士協会登録理学療法士更新ポイント申請予定

担当：奥村